

新川会通信

第51号

すまいる

発行

社会福祉法人新川会

〒930-0362

上市町稗田字七郎谷1-32

Tel(076)472-1118

Fax(076)472-5391

E-mail yotsubaen@niikawakai.jp

HP http://www.niikawakai.jp/

発行責任者 山岸親史



<テーマ> 今年度の目玉

この活動を経験して、上市町の団結力を知ることができました。各施設の方々と直接知り合うのは初めてでしたが、作業を開始すると率先して行動し、呼びかけが飛び交う姿に驚きました。

作業をしていく中で、四ツ葉園の利用者の方と職員との間に深い絆を見ることができました。利用者の方が作業をしている時は、必ず隣で見守り、終わった時には一緒に喜ぶ。そんな笑顔が絶えない明るい雰囲気を感じることができました。この絆は、利用者の方と職員方が互いに信頼しているからだと思います。今回の活動でみんなの生き生きとしている姿を見ることで、僕も楽しく活動することができました。

この活動で周りとの絆や、口口ナ禍で制限が厳しい中でもできることを話し合い、最後までやり遂げた後の達成感を味わうことができて嬉しかつたです。貴重な経験から学んだことを今後の進路にも活かしていきたいです。

僕は、富山県立上市高校でボランティアを中心に活動している「地域交流委員長」という役職についています。今回、「Kamimichiつながるプロジェクト」で、僕は多くの経験をさせていただきました。地域交流委員長として初めての活動でとても緊張したのを今でも思い出します。今回の活動では、上市町内の各施設の方々と協力して創作物を作り上げました。高校生が思う上市町の名所を出し合い、下絵を描き、その絵を各施設が得意とする方法で色付けしました。また、上市の小・中学校の生徒にたくさんの思いのこもったメッセージを書いてもらいました。

この活動を経験して、上市町の団結力を知ることができました。各施設の方々と直接知り合うのは初めてでしたが、作業を開始すると率先して行動し、呼びかけが飛び交う姿に驚きました。

作業をしていく中で、四ツ葉園の利用者の方と職員との間に深い絆を見ることができました。利用者の方が作業をしている時は、必ず隣で見守り、終わった時には一緒に喜ぶ。そんな笑顔が絶えない明るい雰囲気を感じることができます。今回の活動でみんなの生き生きとしている姿を見ることで、僕も楽しく活動することができます。

この活動で周りとの絆や、口口ナ禍で制限が厳しい中でもできることを話し合い、最後までやり遂げた後の達成感を味わうことができて嬉しかつたです。貴重な経験から学んだことを今後の進路にも活かしていきたいです。

つながりを大切に

富山県立上市高等学校 二年生
西田空人

特集 雷鳥苑

今年度からは農福連携事業に積極的に取り組みを始めました。今回、その取り組みについて紹介します。

「農福連携とは」

「農福連携とは障害者等が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持つ社会参画を実現していく取り組みです。農福連携に取り組むことで、障害者等の就労や生きがいづくりの場を生み出すだけでなく担い手不足や高齢化が進む農業分野において新たな働き手の確保に繋がる可能性のある取り組み」として農林水産省が推進している事業です。

「農福連携事業に挑戦！」

昨年から農福連携事業の一環として農家から苑に搬入された菊の出荷準備をする委託作業に取り組み、今年度は「株式会社ゴーラデン・アグリ」での育苗や田植えに付随

する仕事場に出向いて就業する挑戦を始めました。

仕事初日、苗箱のシート外しや苗箱運びなど慣れない仕事に加え、普段とは違う苑外での作業や人の関わりに緊張した表情でした。しかし、就業先の方に仕事を分かれやすく丁寧に教えていただき、回数を重ねることで仕事を覚え、次第に就業先での仕事に慣れていました。

農福連携事業を経験する中で、困難と今後の課題がみえてきました。雷鳥苑では毎日同じ職員、仲間と一緒に仕事をしていますが、就業先では毎回一緒に働く社員が違います。その都度、利用者は緊張と不安を感じているようにみました。特に「一人ではできない作業場面」に緊張と不安を感じたよう思います。例えば育苗用のシートを畳む作業では一人では畳むことができないため二、三人で力を合わせなくていけません。苑では人参の皮剥き作業、チラシ折りなど、個々の仕事に黙々と取り組む作業が多いので他者と「呼吸を合わせて仕事をする」ことの

難しさがあつたように思います。

そのような場面ですが、付き添う支援員が利用者の得意な点や苦手な点を把握し、与えられた仕事のサポートに入ることで困難な場面をクリアすることができました。この経験は支援員の今後の課題であり同時に必要なスキルだと学ぶことができました。

す。二人が懸命に働く姿を社長や社員に見て頂き「助かるわ。」「また頼むね！」「明日また待ってるね。」など嬉しい言葉をかけていただとと、その言葉で自信とやる気につながり、疲れ切った表情から、やり切った気持ちのよい表情に変わります。



今後も、この農福連携事業を通じて地域から利用者の働きが評価され、働き手として求められるようになり、地域で活躍する機会を増やしていきたいと考えています

(長瀬支援員 記)



（酒井拓支援員 記）

上市町食生活改善推進協議会様のご協力もあり、笑顔溢れる和やかな雰囲気で終えることが出来ました。課題も見えましたが、利用者の皆様の楽しみとなるよう次回進めていきたいと思います！

四ツ葉園だより

クローバー カフェ開店



（選択社会見学について）

四月十二日に定例会が行われました。お祝いした後、勉強会で「社会体験」についてお話しさせていただきました。「社会体験」は今年度から的新行事です。イチゴ狩りや吉峰温泉、バーベキュー、ピザ作りなど、八種類の中からの選択と企画し、地域との交流を企画しておられます。地域のボランティアに店員役を担つていただけたのがクローバーカフェです。地域のボランティアに店員役を担つていただけたのがクローバーカフェです。

（酒井拓支援員 記）

上市町食生活改善推進協議会様のご協力もあり、笑顔溢れる和やかな雰囲気で終えることが出来ました。課題も見えましたが、利用者の皆様の楽しみとなるよう次回進めていきたいと思います！

四ツ葉園書道教室



（井原支援員 記）



種田先生これからもよろしくお願ひします！

（伊藤支援員 記）

（新しい先生紹介のコーナー）

Q..お名前と生年月日を教えて下さい。

A..種田均(たねだひとし)です。昭和二三年九月二一日です。

Q..書道はいつから始めたんですか？

A..三五歳頃に友達が書道会館に通つており、それに誘われて始めました。友達は途中で辞めてしましましたが、自分は興味をもつたので続けました。

Q..利用者に書道を通して伝えたいことと参加利用者の印象を教えて下さい。

A..少しでも字が書ける様になり、表現力を養っていきたいと思っています。

自分は県下の子供達を教えていたが、利用者の皆さん一生懸命書こうとしているのが伝わり、雰囲気が違うと思いました。



雷鳥苑だより

畑とプランター栽培

今年度から、

以降には収穫が待っています。

烟に加え、中庭を活用したプランター栽培に取り組み始めました。まず、畑ではカターレ富山から頂いた芝で作った肥料「芝ヶレ」を石灰と一緒に畑に混ぜ込みました。五月のGW明けから畝をつくり、サツマイモ「紅はるか」の苗を生活介護の利用者で植え付しました。これから秋にかけて美味しいサツマイモが収穫できるよう育てていきます。また、にんにくと玉ねぎも順調に育ち六月

今年度から、様々な農産物を作つてきました。昨年度は、さつまいも、ラベンダー、トウキ等の栽培を行いました。その中でもさつまいもは、紅はるか、シルクスイートなどの品種900株を植え付け栽培しました。収穫したさつまいもは、一度焼き芋にしてから食べやすく大きさにカットして食品乾燥機で乾燥させ、干し芋作りを行いました。他にも、落花生や枝豆などのプランター栽培を始めました。沢山収穫ができるよう大切に育てるよ。

（長瀬支援員 記）

た。昨年度は、さつまいも、ラベンダーが合わないのか2年ほどで多くの株が枯れてしまいました。そつし活介護で担えないかという考え方から、中庭でプランター栽培することにしました。畑にある株から挿し木で増やし、根が張ればプランターに移し替えて栽培をしていきます。他にも、落花生や枝豆などのプランター栽培を始めました。沢山収穫ができるよう大切に育てるよ。

（長瀬支援員 記）

さつき苑だより

今年度のさつき苑



さつき苑では、例年畑にて様々な農産物を作つてきました。昨年度は、さつまいも、ラベンダー、トウキ等の栽培を行いました。その中でもさつまいもは、紅はるか、シルクスイートなどの品種900株を植え付け栽培しました。収穫したさつまいもは、一度焼き芋にしてから食べやすく大きさにカットして食品乾燥機で乾燥させ、干し芋作りを行いました。他にも、落花生や枝豆などのプランター栽培を始めました。沢山収穫ができるよう大切に育てるよ。

（長瀬支援員 記）

今年度のさつき苑では、例年畑にて様々な農産物を作つてきました。昨年度は、さつまいも、ラベンダー、トウキ等の栽培を行いました。その中でもさつまいもは、紅はるか、シルクスイートなどの品種900株を植え付け栽培しました。収穫したさつまいもは、一度焼き芋にしてから食べやすく大きさにカットして食品乾燥機で乾燥させ、干し芋作りを行いました。他にも、落花生や枝豆などのプランター栽培を始めました。沢山収穫ができるよう大切に育てるよ。

（長瀬支援員 記）

今年度のさつき苑では、例年畑にて様々な農産物を作つてきました。昨年度は、さつまいも、ラベンダー、トウキ等の栽培を行いました。その中でもさつまいもは、紅はるか、シルクスイートなどの品種900株を植え付け栽培しました。収穫したさつまいもは、一度焼き芋にしてから食べやすく大きさにカットして食品乾燥機で乾燥させ、干し芋作りを行いました。他にも、落花生や枝豆などのプランター栽培を始めました。沢山収穫ができるよう大切に育てるよ。

（長瀬支援員 記）

令和四年三月二二三日
北日本新聞掲載





つつじ苑だより

ブルーベリー栽培スポーツ活動

四月からブルーベリー栽培の活動をスタートしています。三年に一度、土の入れ替えをしており、今年は現在栽培している二五〇鉢中、一〇五鉢の土の入れ替えを行います。まずは土を買いに行くところから始まり、重たい土を運ぶ力作業も、利用者の方達は率先してやってくれます。土の入れ替え作業は、ピートモスと鹿沼土を一对一の割合で混ぜたものを使用します。

更にウッドチップで土の表面を覆うことにより水分の蒸発を抑制してくれる効果があります。前年度の収穫量は、一・五kgだったのでも、今年度は三kgを目指とし、収穫したブルーベリーは、ジャムにして即売での販売を目指します。また、沢山の方々につつじ苑で採れた自慢のブルーベリーを口にしていたいと思います。

生活介護班は、午後に運動の時間となつており、天気の良い日は近くの公園まで散歩に出掛けます。公園では、公園内をランニングしたり、サッカーをしたりとたくさん体を動かし汗を流します。サッカーでは、上手にボールを蹴つたり、来たボールを止めることも出来ますが、相手を狙つてボールを蹴つても違うところに蹴つてしまつたり、来たボールを止められずトンネルしてしまうこともあります。

(岡部支援員 記)

とも・・・。そんな中、今年度は外部講師の方をお招きし、サッカーレッスンを開いていただくことになりました。教室を通してサッカーの楽しみを更に感じたり、今より上達できればと思っています。皆さん今からとても楽しみにしています。

(岡部支援員 記)

工房よつばだより

今年度の目標



工房よつばでは、自主製品として入浴雑貨作りや野菜作りを行っています。入浴雑貨は、皆さんが存知の「贅沢なよもぎ風呂」を作っています。「味蔵」や「アミング」で販売しており、今後も工

ガイモ、里芋、菊芋、ナス、オクラ等を栽培しています。収穫した野菜は、カミール一階「ふれあい元気市場つるぎ」やコンビニに置かせもらっています。また、一昨年から四ツ葉園より引き継ぎ、原木椎茸作りにも取り組んでいます。原木椎茸は自然栽培で手間ひまがかかりますが、色つやが良く肉厚もあり、とても美味しいです。生椎茸としてはもちろん、乾燥して干し椎茸としても販売しています。



野菜作りでは、玉ねぎやジャガイモ、里芋、菊芋商品として売り上げを伸ばしていくといきたいと思います。

今後は、これらの商品の他に、採れた野菜を加工した商品も作っていきたいと考えています。また、作った商品を地域の店舗等に置かせてもらうことで、より多くの人に工房よつばを知つてもらいたいと思いま

(宮川支援員 記)



過去のイベントの様子



グループホームだより

イベント

ここ数年はコロナ禍ということがあり、祭りやイベントの中止など、楽しむ機会がありませんでした。新年会もバラバラで実施する等、利用者の皆さんもストレスがたまることが多い日々でした。

今年こそは、コロナ対策を行いながら、皆さんが楽しく、笑顔があふれるようなイベントを開催できればと思っています。それが今年の目玉です！

行っていた新年会では団体のグループホームの利用者、世話人、新川会の職員が集まり楽しい時間を過ごしていました。毎年域の行事に参加していました。地元の祭りや、イベント等皆さん楽しみにしていました。毎年

今年こそは、コロナ対策を行いまして、所属先とお名前をよろしくお願いします。

元気づけてくれている高木支援課長です。

(柿沢支援員記)

- Q 支援課長としてはどんなお仕事をされていますか？**
- A** 職員の勤務調整や利用者の健康管理、職員が働きやすい職場になるよう日々業務に励んでいます。
- Q 働きやすい職場づくりにあたって意識していることはなんですか？**
- A** 職員に挨拶する時に調子が悪くなっています。喋ってみてどんな状態か判断して盛り上げるように意識しています。次に話題を変えてプライベートの事をお聞きします。
- Q 素敵ですね。今後も宜しくお願いします。**
- A** よく寝ています（笑）あとは

職員インタビュー

今号から始まった職員紹介コーナーの記念すべき第一回は常に周囲を元気づけてくれている高木支援課長です。

Q それではあらためまして、所属先とお名前をよろしくお願いします。

A 四ツ葉園で支援課長をしています。

Q 高木義邦です。宜しくお願いします！

- Q** 新たにチャレンジしてみたいことなどはありますか？
- A** 仕事としては、自分の思っている課長像とはまだ程遠いので近くよう切磋琢磨していきたいです。プライベートでは、コロナが早く落ち着いてみんなと飲みに行けるようになりたいです。また、家の畑にネギを植えたので立派なネギを育てていきたいです。
- Q** たくさんの方々に釣りによく出かけます。
- A** 人ととの触れ合いが大切なので早くコロナが消息して今まで普通だったことが出来る日が来るまでお互い頑張りましょう！



高木義邦 支援課長